

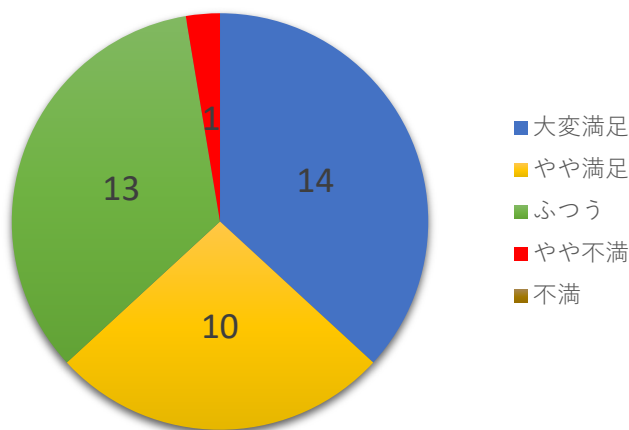
平成 29 年度石川療育センター放課後等デイサービス事業所評価

平成 30 年 1 月から 3 月にかけて、放課後等デイサービスを担当している職員の自己評価と、放課後等デイサービスをご利用されているお子さまの保護者さま向けアンケートを実施致しました。その結果を公表致します。

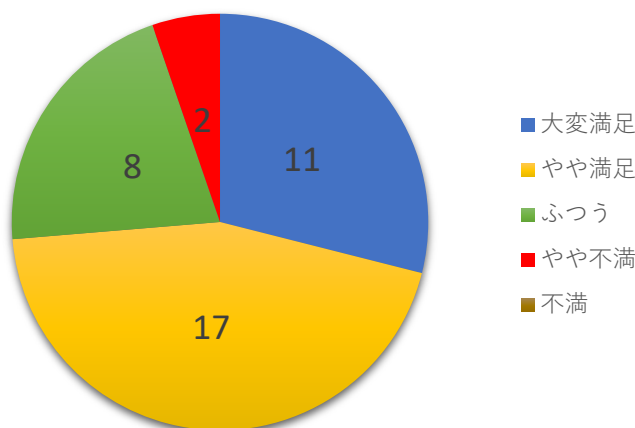
保護者さまのご満足度に関する結果

ご協力くださいました保護者さまは対象者 40 名の内の 38 名で、配布した皆さまからご回答を頂きました。以下に結果の内訳をグラフで示します。

お子さまは療育センターに通うことを 楽しみにしていますか



療育センターの支援に満足されていますか



「すごく楽しみにしている」「多方面からサポートして頂いています」等のご記入が多数あった一方で、「時々めんどうがることもある」「日常の不安事を相談する時間、機会がない」等のご記入もあり、本事業をより良いサービスにするための見直しは必要と言えます。

事業所評価の結果

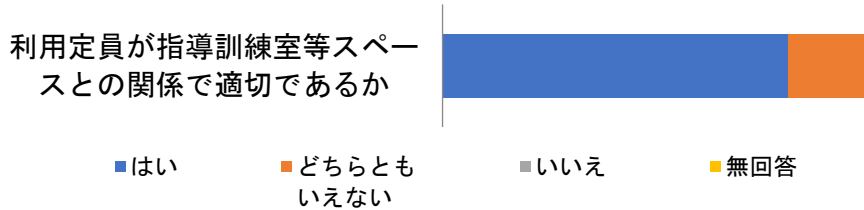
自己評価を実施した内容が以下の6項目です。

- 環境・体制整備
- 業務改善
- 適切な支援の提供
- 関係機関や保護者さまとの連携
- 保護者さまへの説明責任等
- 非常時等の対応

それぞれの内容の結果について保護者さまのアンケート結果も踏まえて分析し、改善案を検討しました。必要な質問項目の結果のみグラフにて記載してあります。

【環境・体制整備】

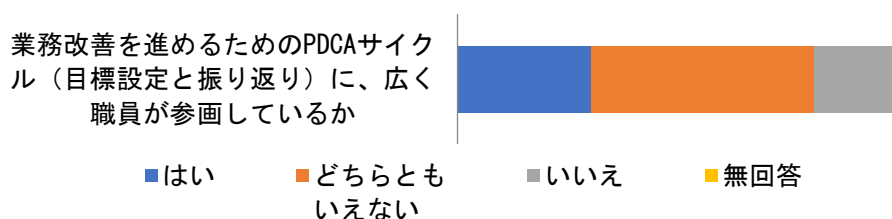
活動を実施している訓練室等のスペースを担当者は適切だと考えていたが、保護者さまの中には、もう少し広い方が良いというご要望がありました。部屋の選択ができることは理想であるが、部屋数に限りがあるので難しいです。グループごとの人数やメンバー構成でお部屋の大きさを考慮した活動内容を選択していくことで対処していきたいです。また、お部屋の様子を見たことが無いというお声を頂いています。保護者さまが活動の様子を想像できるように、セッション後のご説明を丁寧にしていくことを確認していくこととしました。



【業務改善】

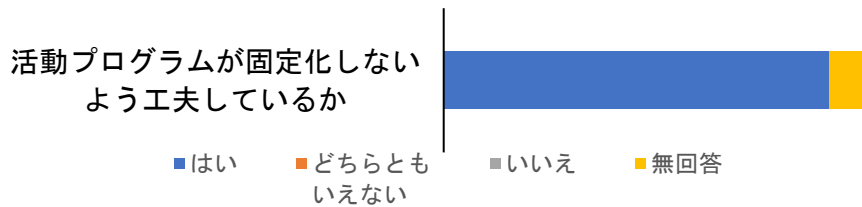
保護者さま向けのアンケートの実施や自己評価は、今回が初めての試みとなるため、振り返りの機会確保に関する自己評価は低い結果でした。これまで年度ごとに事業の振り返りは行なっていたものの、業務改善の取り組みまでは踏み込んでいませんでした。そして、個別やグループ単位で実施したり広報紙のあいじの配付をしてはいましたが、積極的な発信はしてこなかったと言えます。今回の事業所評価を行う事で、積極的なPDCAサイクルによる業務の改善と保護者さまの意向の把握につなげていきます。今回の事業所評価をHPに公表することをその第一歩としていきます。

また、研修の機会の確保が不十分だと捉えている職員が多数いました。具体的にどんなことを望んでいるのか不明瞭なため、今後は要望を聴き取る所から始めます。

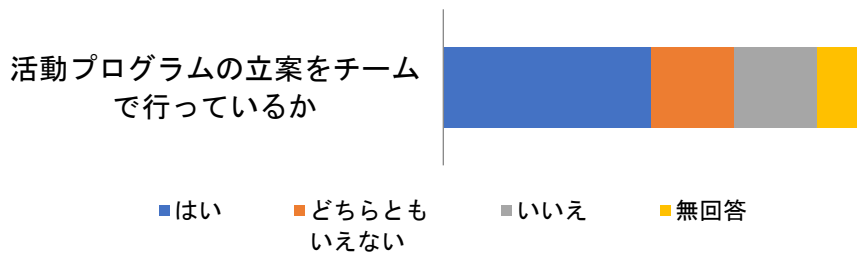


【適切な支援の提供】

どの職員も、プログラムが固定化しないように工夫していることが分かります。保護者さまも満足されている方が多く、結果が一致しています。



標準化されたツールを用いた客観的な分析や初期のアセスメントは行なっていますが、プログラムごともしくは半年後の評価や分析に関しては、チームで行えるよう改善や工夫が必要になってくると言えます。同様に、プログラムを実施する際の内容の立案や、開始前の打ち合わせ、実施後の振り返り、記録や支援の検証・改善、定期的な計画の見直しは、グループの活動は複数で行なっている場合には可能ですが、活動の担当が1人の場合には医師との相談が中心になってしまい、改善が必要と考えている職員は少なくないと言えます。



しかし、人員の配置の関係もあり非常に難しいのが現状です。より多面的な視点でプログラムを立て検証していくことで、より良い内容になると思いますが、そうすると、グループの参加者の数を減らさせて頂いたり、グループの数を減らさせて頂くことになってしまいます。職員の人数の現状を考えての改善が必要となりますので、今後の検討課題とさせていただきます。

【関係機関や保護者との連携】

障害児相談支援事業所との連携については概ね実施できている者が多く、担当者会議はできるだけ参加していくことにしています。しかし連携の取れていない相談の事業所があることや、モニタリング時に本事業所としてどう対応していくか曖昧だったことは改善が必要だと思えます。今後は、担当者と相談して児発管が対応していくようにして積極的に情報共有していくよう努めたいと思えます。

障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか

■はい ■どちらともいえない ■いいえ ■無回答



お子さまが日常生活している地域での活動につながるような見通しや、お子さまの状況や課題について保護者さまと共通理解を持っていくことが十分にできているとは言えないところがあります。保護者様からも、そうした地域での活動につながる内容や、身体を使った遊びを取り入れて欲しいという要望がありました。保護者さまが担当者や医師を通して、現状や課題をお話してもらえよう、アナウンスしていく努力をしていきます。

子どもへの活動や支援は、地域や地域の子どもの交流につながっていく見通しを持っているか

■はい ■どちらともいえない ■いいえ ■無回答



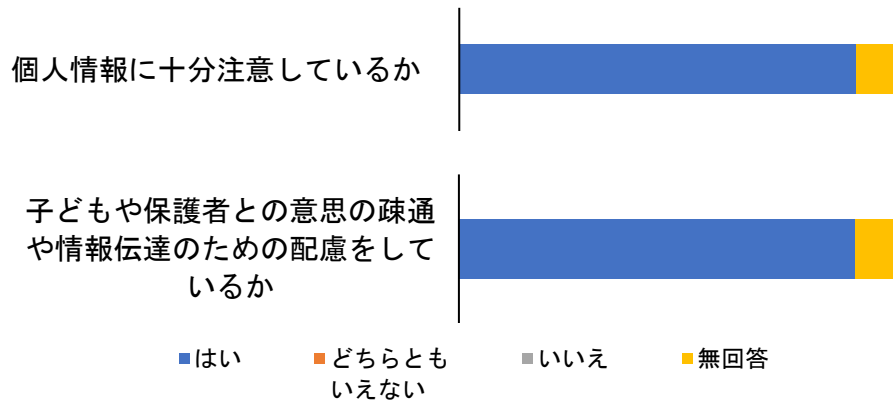
自立支援協議会への積極的な参加はしていない者がほとんどですが、金沢市の自立支援協議会の現状や活動状況を知る必要はあると思えます。

保護者さまに対する勉強会等の企画や運営は、これまでに就学時勉強会のみであり、放課後等デイサービスの事業としては実施していませんでした。保護者さまからも保護者さま同士の交流を望まれる声も多くあり、平成30年度をめぐりに計画していきたいと思えます。

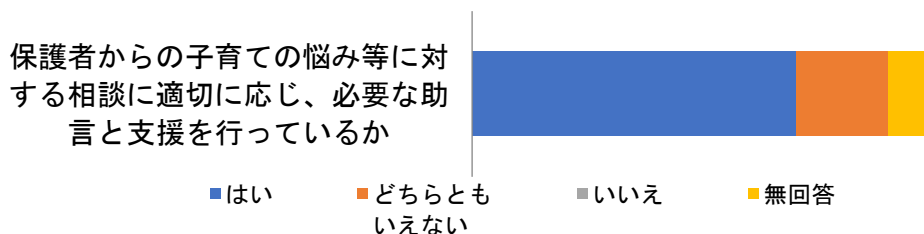
【保護者さまへの説明責任等】

運営規定や支援の内容、利用者負担等についてはどの職員も行っていますが、保護者さまからは聞いたことがない、負担額の計算が分からないといった声がありました。年度のはじめに重要な内容を保護者さまにお伝えする機会を作るようにし、職員が負担額の計算方法についてご質問に答えられるように学ぶ機会を作ることとする予定です。

個人情報、どの職員も十分に注意をして取り扱っています。お子さまや保護者さまとのやりとりにおいては、情報が正確に伝わるように配慮や工夫をするよう努めています。



保護者さまからのご相談に対しては、どの職員も丁寧に支援を行うよう努めているようです。一方で、保護者さまの中には要望やご意見への職員の対応が、十分とは思っていない方もいらっしゃいました。表面化していない内容や職員に相談することに消極的な方もいらっしゃると思います。今後、座談会の場で聴かせて頂けたらと思います。



【非常時等の対応】

非常災害の発生に備えた訓練を定期的に行っており、緊急時対応や防犯、感染対応のマニュアルも策定されていますが、保護者さまへの周知が不十分であるようです。保護者さまからも、聞いたことがないというお声がたくさんあがりました。そこで、非常時の避難経路を各部屋に掲示するとともに、訓練を定期的に行っていることもアナウンスしていくことにします。

また、ヒヤリハットの活用が不十分であるという意見があり、記入内容の具体例をいくつか例示しておくことにします。

重症心身障害児の方へのサービス内容に関して

【環境・体制整備】

基本的には受け入れ人数に対してのスペース等は適切であると思われませんが、人数を多く受け入れる場合には近くの別室を利用する等しています。また季節に合わせて利用者が快適に過ごせる環境（室温や湿度、装飾等）に配慮しています。しかし、冬季には暖房との兼ね合いで室内が乾燥するため、湿度をもう少し上げる工夫を行いたいと思います。

【業務改善】

不都合等については、皆で話し合い共有できています。また院内外の研修にはサービスに支障が出ないように配慮しつつ参加しています。

現在、医療的ケア児を受け入れているため、今後いっそうのスキルアップを目指して、基礎的な医療を含む研修等も企画していきたいと考えています。

【適切な支援の提供】

生活介護では細かくアセスメントを実施し、ニーズ整理をし、個別支援計画の作成をおこなっており、放課後等デイサービスでも同様に実施したいと思います。また児童期の場合には年齢に応じた必要な支援があると考えられ、場合によっては学校との情報交換や当機関の外来の専門家等との連携が必要と考えています。

活動プログラムはチームで話し合いプログラムが固定化しないように年度計画、月案、週案と立案していますが、さらに個別なニーズをより深く把握して、個々に即した支援が提供出来るように創意工夫をしたいと思います。また社会参加という視点が弱いと思われるので、これについても今後取り組んで行きたいと考えています。

【関係機関や保護者との連携】

保護者さまとは日常的に連絡や報告等を毎日行い、変化や要望等はスタッフとその都度共有しています。学齢児の方の利用があれば、学校等必要な機関との情報の共有は行って行きたいと思います。また医療的ケアが必要な方の場合、その主治医との連絡に関しては保護者さまを通して情報を共有しています。必要時には当機関の医師と主治医とが連絡を取って情報交換を行っています。

【保護者への説明責任等】

運営規定、支援の内容、利用者負担については丁寧に説明を行っているつもりですが、保護者の方々がどのように感じているのかについては分かりません。

日々の様子については毎日連絡ノートに記載したり、送迎時に話をして保護者さまにお伝えしています。また年2回お便りを発行して、活動の様子等を伝えています。

【非常時の対応】

緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、各場所（部屋、送迎バス等）に備えてあります。また避難訓練にも参加していますが、保護者さまへの案内、情報提供は充分とはいえないので、非常時の対応方法を保護者さまと共有できるよう今後改善していきたいと考えています。